



# 学生必見!! NPOインターンの あれこれ

一月号は、NPOとか気になるけど、何かしてみようかなとは思っているんだけど...という学生さん**必見**です!

このインターンのことをもっと知ってほしい! 意外とNPOとかのことって学生に伝わってないのかな? なら私達がこの約半年で見えてきたものを伝えようじゃないか!

そんなことをテーマに今回はこのインターンのあれこれや、非営利団体の不思議を明らかにしていきますよ~

世の中で

今、一番必要なことをする!

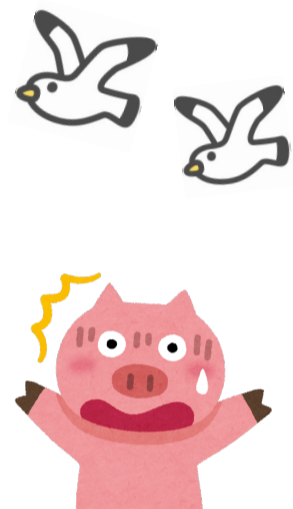
それが「非営利団体」

私達が考える非営利団体とは、「世の中で、今一番必要なことを、仲間とともに行う組織」。社会に生きる私たち市民や、社会全体のためになることを成すために活動しています。ただし、儲りません! 帰ってくるものは自分たち次第...!!  
(狭義では、非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う団体のこと)

# インターンなのに お金をもらう?!

企業インターンシップとこのインターンの大きな違いは**お金がもらえること**です! 企業インターンでも交通費などが支給される場合もありますが、たかはら子ども未来基金のインターンでは、**一人十数万円の奨励金をいただいて活動**しています。個人のご夫妻が出資してきた助成金という仕組みで、学生に奨励金、団体に助成金が出るのが特徴です。  
企業インターンは一日や長くても一〜二週間。企業の内容や、自分と業種との適性を見極めることが参加目的ではないでしょうか。中には、採用につながるなど就活という色が濃いのが特徴です。  
一方で、私たちはNPO法人などの団体で活動しています。ただ、どのような活躍をしているのかを知るだけでなく、**インターンを通して学生の視点から何か成果を挙げることが目標**となっています。このインターンは、経験やスキルアップにつながるだけでなく、**団体と深く関わることで社会を知ることが**できます。たかはらインターンでの活動は、**学校生活や就活など**といったことに必ず役立ってきます!

# 学生は見た!! 非営利団体の「リアル」



- 【子どもの居場所 アットホームきよはら】  
ゆりり・稲川夕梨(いながわゆりり) はるか・大山春香(おおやまはるか)
- 【一般社団法人えんがお】  
はる・會田未来(あいたはるか)
- 【たかねざわぼかばか食堂】  
りく・岡浜陸(おかはまりく)
- 【サンバの里自然学校】  
のあ・桂野葵(かつらのあおい)

ここからは、十二月号よりさらに詳しく各団体について紹介していきます。インターンをしていく学生が自分たちの目線から発信していきますよ~!

## Q. 団体の最先端なところは?

様々なまちづくりの分野に触れられる!

(のあ) 様々なまちづくりの分野に触れることができる。資源を守る森林保全活動はもちろんなこと、未来を担う子どもたちの成長の場に携われるほか、地域振興に関わる活動(まちの特産品開発、町民祭など)を通して地域内でのコミュニケーションのあれこれについて学ぶことができます。

子どもたちが多くの大人と関われる!

(ゆりり) そもそも、栃木県は「子ども居場所」支援の最先端の場所です。その中でもアットホームきよはらの最先端なところは、子どもたちが多くの大人と関わる機会があることだと思います。子どもと関わるスタッフはもちろんですが、隣接する「マイホームきよはら」という高齢者福祉施設の職員の方にも声をかけてもらったり、時には遊んでもらったりしています。多くの人と関わることは子どもたちにとっても良い経験となっていると思います。



アットホームきよはら

生活の困りごとを経営として成り立たせる

(はる) やっぱり、生活の中のほんの些細な困り事を全力で支えるところ、じゃないでしょうか。そこに私のような学生も一緒に行って、若い人と高齢者との関わりが生まれること、支え合いが生まれること、年齢関係なくみんなが笑顔になれること。そこが一番かな、と。あとは、経営として成り立たせていること。インターンを通して、生活支援の料金設定とか人件費の考え方とか、時々お話を下さることがあって、困り事を解決するだけじゃなくて、ちゃんとそれを自立したモデルにしているところが最先端なのかなという気がしています。

## Q. スリルを感じる場所は?

自分の身は自分で守る!

(のあ) 里山の自然に飛び込んで活動する体験プログラム「子どもキャンプ」や「生きもの塾」では、自分の身は自分で守る! がみんなのルール。実は当たり前のように、当たり前じゃない世界ではないでしょうか? 自分の経験を通して危険なことは何かを知り、学びにかえる場が子どもたちの日常から失われつつあります。

例えば、危険性を理由に進んでいる公園の遊具撤去。きちんと正しく使う方法を理解して、自分で気をつけるだけでなく、子どもを見守る姿勢を持った大人がいれば、子どもたちの成長に繋がるものを得られるはず。ここでは全身で自然に向き合うことで、子どもたち自身から生まれるたくさんの気づきに出会うことができます。

様々な子どもとの関わり方

(はるか) 身体能力の高い子どもが遊んでいるときに走ったり、飛んで跳ねたりするほかに予想外の動きをすることがあるので、ケガをしないかドキッとすることがあります。また、アットホームきよはらに集まる子どもたちは、様々な背景を抱えているので、子どもと関わる時に言動をよく考えて接しています。

おじいちゃんおばあちゃんに役割を!

(はる) えんがおが運営しているコミュニティサロン(みんなの家)があって、所々埃が溜まってきてたんです。それで掃除してたのですが、代表から、大体でいいよと言われました。そう、お掃除に来てくれるおじいちゃんがいるんですよ! だから、あんまりやり過ぎるとその方の入る隙がなくなってしまうこと。あと、みんなの家の窓を拭いていて、途中からおじいちゃんが手伝ってくれて。でも、おじいちゃんが



一般社団法人えんがお

**子どもと一緒に遊ぶ!**

(りく) ぼかばか食堂でのスリルといえば、子供達と一緒に活動しているというところが一番大きい！子供は良い意味で予測不能！食器を落としてしまったりなんてことは日常茶飯事！ただぼかばか食堂に来ている子供達は、自分のしてしまったことの後始末は自分でやるうとします！そこは見ていてよく感心させられます。それと子供達と遊ぶ機会も多いのですが、子供達は無茶が大好き！(自分もそうでした)一緒に遊んでいる時もある意味スリルがあるかも。。笑



たかねざわぼかばか食堂

**Q. こころが面白い！ってある？**

**生き物大好き 小さな博士と 大きな博士!**

はなく、子どもを見守る大人たちも生き物が大好きです！体験プログラムを通じて、お互いに、生き物や自然について語れる関係性が築かれていく様子を目にした時は思わず感動しました！



サシバの里自然学校

**学校・地域を超えた色んな人との交流**

(ゆうり) ほかの子どもの居場所との合同行事があり、学校や地域を超えた色々な人との交流があることです。秋には運動会があり、居場所のくくり関係なしに、大人も子どもも協力して協議に取り組みました。

**できることが増えて生活力アップ!!**

(はる) もう、全部面白いです！笑 生活支援でおばあちゃん家に行っても、逆に掃除の仕方とか、草の取り方とか私側が教わって、出来ることが増えて帰ってくるんですよ。自分の家のお風呂とかトイレとか、掃除するの実は手伝ったことなくて、なのに人ん家の掃除してる自分がいたり(笑)。生活力上がります！笑



一般社団法人えんがお

**日常からは見えない子供の姿が見える**

(りく) 日常的に子供達と関わることは、この年になってしまつと少なくなってくるのですが、子供達と活動していると普段の日常からは考えもしないようなことも見えてきます。最近本当に良く思うことは、子供達も自分なりに何か考えて動いたり、話したりしているんだなと思います。そして何より子供達はどんな相手にも同じように接してくれます！活動していると自分が遊んでもらっているような気分になることもよくあります。笑

**Q. 非営利でない一般的な団体と何が違うの？**

**自然学校ならではのコミュニティの存在**

(のあ) 例えば、義務教育課程における学校の宿泊体験学習と自然学校の泊まり込みの体験プログラム「子どもキャンプ」とを比較します。前者は同年代での団体行動ですが、サシバの里自然学校では学年が異なっても、それにとらわれず一人の子ども同士としてコミュニケーションをとることが出来ます。自然に興味がある者、自然学校に縁があった者としての仲間意識が自然と形成され、自然学校ならではのコミュニティが存在しているのでは？と個人的に感じる場面がたくさんありました。

**子供なら誰でもじゃない。当たり前前の経験を届ける。**

(はるか) 子どもの居場所のような非営利ではない団体や活動というと、放課後の学童などが挙げられると思います。学童と「アットホームきよはら」の最も大きな違いは、誰でも利用しやすい場所かどうかだと思います。アットホームきよはらには、様々な理由から困難を抱える子どもたちが集まっています。登録が必要で、誰でも利用できるわけではありませんが、学童の目的は、子どもを預かることだと思えますが、「アットホームきよはら」のような子どもの居場所の目的は、子どもたちへ、みんなで温かいご飯を食べたり、今日学校であったことなどの何気ない会話をしたりといった当たり前前の経験を届けることです。



アットホームきよはら

**ただの「便利屋」じゃない。人との繋がりを生む。**

(はる) えんがおがやっていることはいわゆる「便利屋」さん。ただ、一般的な便利屋と何が違うかって(私の感覚ですが)、頼む方も楽しい時間を過ごすことができる所なのではないか？と感じています。手伝ってもらえる上に、若い人が来て、冗談言ったり、人生の話をしたり、それでお互いに笑い合ったり出来るんです。たまに学生に掃除の仕方とか指導したり、自分自身も誰かの為になる。あと、よく依頼者の方が口にするのは、「頼みやすい」って。そういう気軽さも違いなのかなという気がします。便利屋が来て、ただただ、せかせかと頼み事を終わらせていく感じではなく、そこには確かに人と繋がっているという感覚や時間が芽生えるところが、大

**大人も子供もごちゃ混ぜ**

(りく) ぼかばか食堂では他の団体と違い、子供だけでなく近所のおじいちゃんおばあちゃんも一緒に！ということが大きな違いかなと思います。大人の人も交えて子供達と一緒に食事をしていたりすると、子供達ももちろん勉強になることが多いと思うのですが、自分も勉強になることがあります。自分より年上の人の話は本当にタメになることばかりで、普通の生活では知ることもない知識まで与えてくれます。

**《お知らせ》**

①たかはらインターンの報告会  
[日付]2020年3月14日(土)  
[時間]14:40~16:30  
[場所]宇都宮大学陽東キャンパス

②来年度インターン  
5~6月募集予定!

インターン報告会の参加申込はこちら↓



**編集後記~「非営利団体のリアル」特集を組んで~**

それぞれの団体が解決したい社会課題にとことん向き合っていること、色々な人の力を借りてより良い景色・より良い社会の実現に向けて、ひたむきに歩んでいることを知ることができた。  
お金になることも大事かもしれないが、それよりもっと大切な何かを、非営利団体は生み出している気がする。そこに価値を見出しているからこそ、この活動を人生をかけてやっているのかもしれない。



とちぎコミュニティ基金

〒320-0027 栃木県宇都宮市埴田2-5-1 共生ビル3階 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク内  
TEL 028-622-0021 FAX 028-623-6036 メール info@tochicomi.org Facebook:とちぎコミュニティ基金 @tochicomi